

会 議 録

1 会議名

平成27年度第10回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

平成27年10月21日（水）午後6時00分から午後7時50分まで

4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員： 増田和昭（会長）、青山恭造（副会長）、
池田伸吾、今井不二子、小林克美、田村利男、田村雅春、富塚 毅、
中澤武志、福島 弘、町屋隆之、丸山朝安、三上正子（欠席4名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任

8 発言の内容

【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【増田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：今井委員、田村利男委員に依頼

議題【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局に説明を求める。

【荒木係長】

- ・協議の進め方について説明

【増田会長】

事務局の説明に対して質問等を求める。

(意見なし)

- ・グループ毎の協議に入る

— 班毎に協議 —

A班

青山恭造副会長、田村利男委員、三上正子委員

B班

小林克美委員、中澤武志委員、福島弘委員、丸山朝安委員

C班

池田伸吾委員、今井不二子委員、町屋隆之委員

D班

田村雅春委員、富塚毅委員、(増田和昭会長)

- ・グループ協議後、各班の意見発表

【青山副会長】

『A班の意見』

2つのテーマに重点を置き、いかに、お客様目線に立ち、何を求めてくるのか、我々はどうのようにしたらよいのか、ということについて話し合った。

一つ目は、トイレの件である。観光客が増えるとうとうしてもトイレが必要である。新水族博物館周辺や街なかは、トイレの案内看板が少ないと言っている。トイレへの行き先案内とトイレ自体も分かりやすい表示をしたほうがよい。直江津のガイドマップの一つに「個人の商店でもトイレを利用してください」との記載があるが、その商店は「トイレを利用してください」という表示を入口に貼ったほうがいいのではないかと思う。公園内のトイレ表示等については、都市整備課にお願いする。街なかのトイレ案内表示については、管理者や行政の関係課にお願いをすることが必要である。

ガイドマップへのトイレ表示に関しては、どのマップにも海浜公園内のトイレは表示

がない。せっかくある施設をきちんと明記されていないならば、直江津の住民でさえも分からない場合があるのではないかと思う。また、ホテルとか病院等のトイレでは「何時に清掃しました」と明記されているが、そういうものも必要ではないかと思う。

二つ目は直江津の街なかマップの整備である。これは、商業・中心市街地活性化推進室が事務局となっている「新水族館を核とした地域活性化検討会」の中でも挙がっているが、マップについては、非常に良く出来ている群馬県富岡市のマップを参考にして、上越教育大学の学生達が直江津を歩いてマップを作成するということが決まっている。掲載が必要な情報としては、観光客目線として、例えば駐車場に関する情報では、設置場所、有料・無料、駐車台数、大型バス駐車の可否などが必要だと思う。また、公的な駐車場には直江津の街なかの案内看板も必要であると思う。また、食堂やお土産店でも同様に、駐車台数、看板メニュー、定休日などを表示したほうが良いと思う。お客さんが何を求めるかを考え、お勧め道案内マップを是非作っていただきたい。

【小林委員】

『B班の意見』

短期的にやれることは何かという観点から整理した。

- ・市のホームページから「国分寺」や「明静院」に簡単にアクセスできるように内容を充実したい。
- ・観光案内所はバス停の待合所も兼ねているため現在の場所にあるが、本来であれば、駅の改札口を出てすぐの所にあったほうが良いのではないか。以前JRだった際の駅長室の一部を観光案内所として改修できないか。今あるものを再利用すれば多額の費用も掛からないのではないか。
- ・イトーヨーカ堂の十字路の渋滞や、信号の待ち時間が少し問題になっている。付近の市の土地を利用し拡幅したらもう少しスムーズな通行が可能になるのではないか。これは、短期でするのではなく、市で検討していただきたい。
- ・水族館周辺の道路や環境、景観の整備も必要である。
- ・屋台会館と水族館の間の歩道の花壇が非常に荒れている。きちんと市で管理すべきである。
- ・西本町1丁目から3丁目までの間、水族館への誘導看板があるのだが、分からない人は、駅を降りて直江津学びの交流館の路地に行くよりも、駅前通りに行ってしまう。同じような看板を駅前通りにも立て、どの道を通っても、水族館へ行けるように看板

を増設してほしい。

- ・海浜公園に面している道路にトイレの案内看板を設置してほしい。
- ・駅前のレンタサイクル設置について、以前、「びゅうプラザ」があった場所に、管理者等の問題はあるが、その辺りに造ってほしい。
- ・直江津港の釣り場開放だが、来年度以降にも繋がるように拡充の方向でやってほしい。

【町屋委員】

『C班の意見』

まちに来た人に対するおもてなしというのは、マップ等で対応するという話になるだろうから、私たちはどうやったら人を呼べるのかということを考えてみた。

市の第四次観光振興計画では、上越の観光の核は高田や春日山だと言われており、自分たちで直江津へ呼び込むことが必要である。人を呼ぶための手法として考えることを挙げた。

- ・上越妙高駅で直江津をPRする。「水族館」や「海」など直江津のPR看板等を掲示したらどうか。春日山駅でも同様である
- ・フェイスブック等で、マップに書いてあることだけでも情報発信が出来ないのか。今は、若者が自分で情報発信できるSNSがあり、上越市議会もフェイスブックを立ち上げているのであれば、直江津区地域協議会でも立ち上げが可能ではないか。自分がお勧めするものを投稿できるのであれば、費用も掛からず、今からでも出来るのではないか。その中で「写真コンテスト」をするのもよい。自分が紹介したい写真を全部載せて、それを年末に投票して直江津区のカレンダーを作るなど、市民で盛り上げて紹介していくような仕組みがよい。
- ・絵葉書を作って直江津をPRする。絵葉書が一番お金が掛からず、自分たちが撮った写真が絵葉書になるというのは、魅力の一つだと考える。
- ・直江津だけの独自の海水浴ポスターを作ってもいいのではないか。観桜会の山手線での車内吊り広告のように、しなの鉄道の車内広告に出すくらいは出来ないか。
- ・渋滞対策を考えなければいけない。どこまで渋滞になるのか、イトーヨーカ堂から水族館までは間違いなく混むと思うが、石橋の交差点からも混むかもしれない。どうすれば良いのか。例えば市役所の駐車場を土日に開放して「春日山駅から直江津駅までお越してください」と誘導する方法もある。シャトルバスを使うより、トキめき鉄道を使ったほうが経済的にも良いと思うし、直江津のまちを歩いてもらうことにもつなが

る。車で来て、水族館へ来た人に、「直江津のまちを歩いて」と言うよりは、「春日山から電車で来てください」と言ったほうが、必然的に直江津のまちを歩いて、街なかに触れてもらうルートの一つとして取り入れてもらえるのではないかと。

C班としてはこの「パークアンドライド」を推奨していきたい。市は観桜会の時だけ駐車場の情報を発信しているようだが、渋滞に巻き込まれる前に、渋滞情報を発信し、パークアンドライドを推奨するというのが一番だと考えている。

【田村雅春委員】

『D班の意見』

D班は、看板、インターネット、お休み処、駐車場などの問題について、それぞれ意見を出し合った。

- ・直江津のPR方法として、看板やマップ、インターネット、SNS等は非常に大事である。目的は、水族館や直江津を知ってもらうためである。また、直江津の街なかや、五智地区に住んで良かった、来て良かったと思われることである。現状として、全体案内図は駅前と港町の入り口にあったと思うが、街なかにはあまりない。それと、「名所・旧跡まであと何m」等の距離表示もないので案内しづらいと思う。
- ・トイレや休憩所が少ないのも問題である。数的にはかなり少ない。現在の駅前の観光案内所が分かりづらいので、駅前に休憩所を兼ねた観光案内所を造ってはどうかと考えている。行政と相談しなくてはいけないが、喫緊の課題だと思う。
- ・マップについては、駐車場や名所・旧跡まで、水族館までの距離表示があまりない。例えば、「西本町からは何m」、「八坂神社を回って水族館へ行ったら何m」等の距離表示も必要だと思う。
- ・駐車場の問題については、当初の予定で、水族館の来館者は年間60万人と言われ、当然、相当な交通渋滞になると想定されている。渋滞情報等を含めると、有料駐車場等もあるが、もっと大がかりな駐車場が必要ではないか。なるべくなら、街なかを回遊するような仕掛け作りをする必要があるが、現状は駐車場が足りていないのではないかと。併せて、駐車場の誘導看板があまりないのではないかと。街なかの有料駐車場の案内看板を出してはどうか、商店街で買い物をしたら駐車料金を安くする仕組みを考える等、方法はいろいろあると思っている。
- ・駅前の駐輪場をもう少し綺麗にすれば良いと思った。これはトキめき鉄道と上越市で検討していただきたい。

- ・お休み処の整備や充実の問題である。例えば、直江津のまちを訪れていただいたお客様が休める場所が数的にはかなり少ないと思う。これは、お店から協力していただければ短期で対応できると思う。管理も含めいろいろと検討課題があるが、雁木通りやお店を開いていない所の前に設置すればいいのではないか。また、マップにもお休み処の印を付け、案内をしたらどうかという話もあった。商店街や個人の皆さんに御協力をお願いする必要がある。
- ・雁木の問題である。雁木の凸凹は、そこに住んでいる住民の皆さん、外から来られたお客様にとって、優しいまちではないのではないか。これは個人の財産の問題でもあるので長期的な課題だが、これを問題意識として考えていく必要があるのではないかと考えている。助成金等を使えばよいのではないか。
- ・トイレの問題である。トイレの数が少ない。民間や各商店のなどの協力も含め、街なかにもトイレが必要である。マップや街なかの案内看板の中にもトイレの位置や休憩所の位置等を書き込んでいただき、インターネットでも発信していただきたい。

【荒木係長】

今後の取組課題だが、まずは、今話し合った内容を配付した「取組の検討案」に書き込み、事務局へ提出していただきたい。意見は一覧表にし、次回協議会の際にお示しし、それを基に協議願いたい。

- ・次回協議会：10月28日（水）午後6時～

【増田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。